

第5回 委員会説明資料 (参考資料)

平成30年3月14日

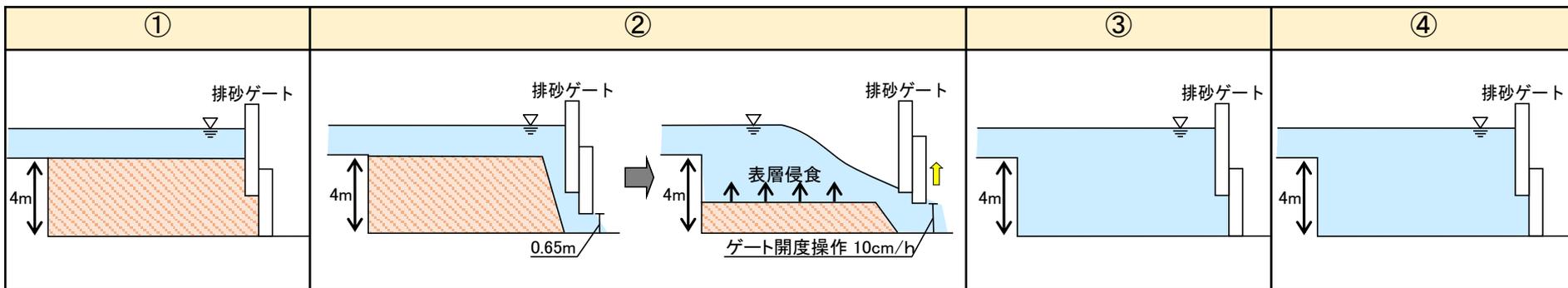
国土交通省中部地方整備局
三峰川総合開発工事事務所

1. 運用計画・試験運用計画

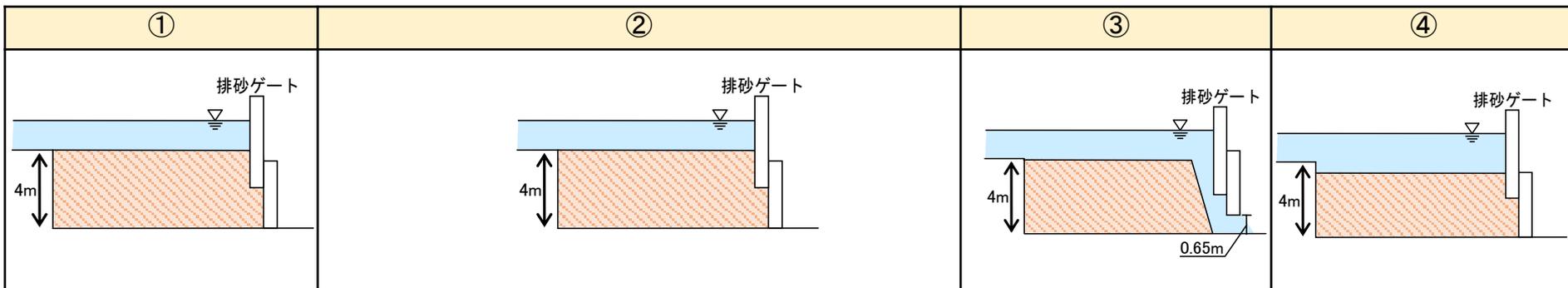
1.2 複数出水パターンをふまえた制御操作運用の確認

①-1：平成22年7月の洪水を対象とした操作

Aサイド



Bサイド

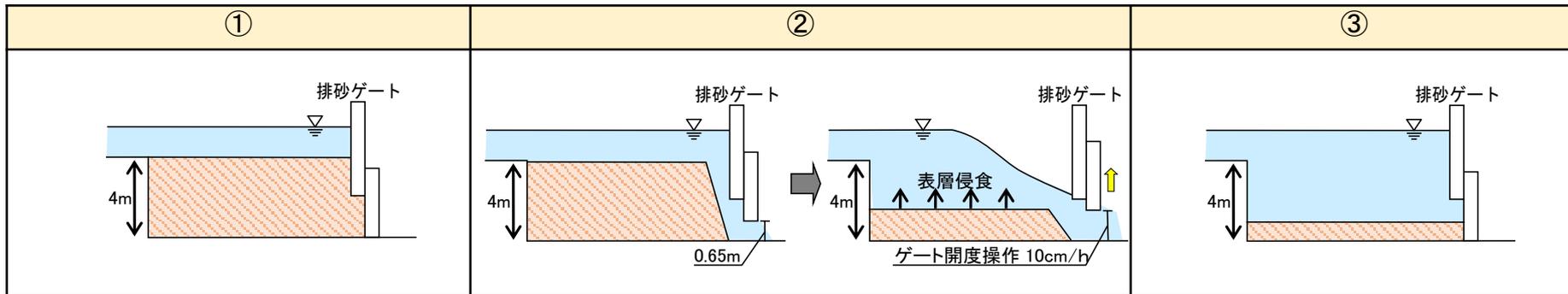


1. 運用計画・試験運用計画

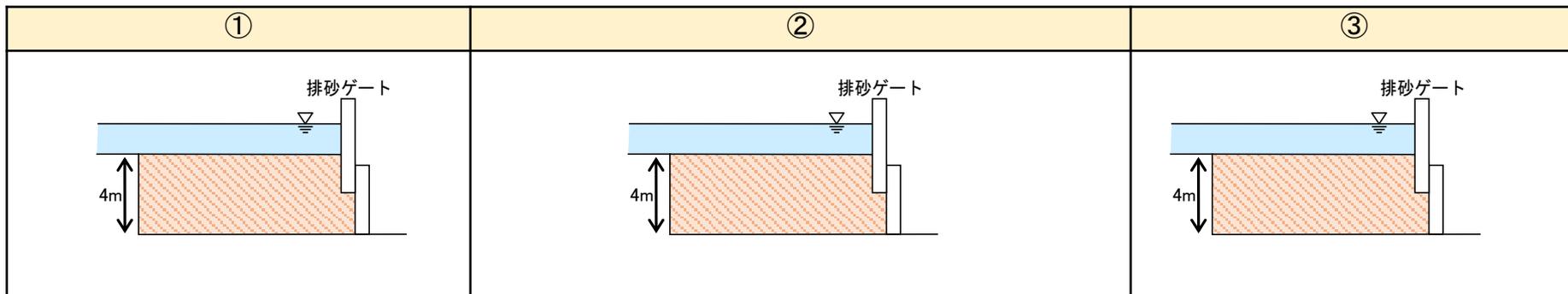
1.2 複数出水パターンをふまえた制御操作運用の確認

①-2：平成元年6月の洪水を対象とした操作

Aサイド



Bサイド

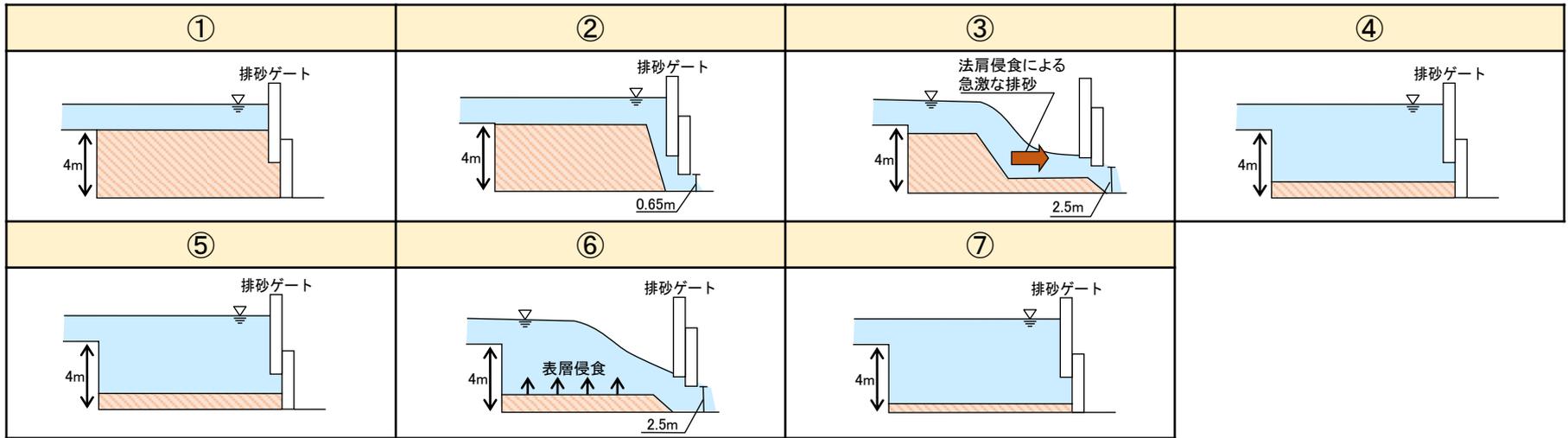


1. 運用計画・試験運用計画

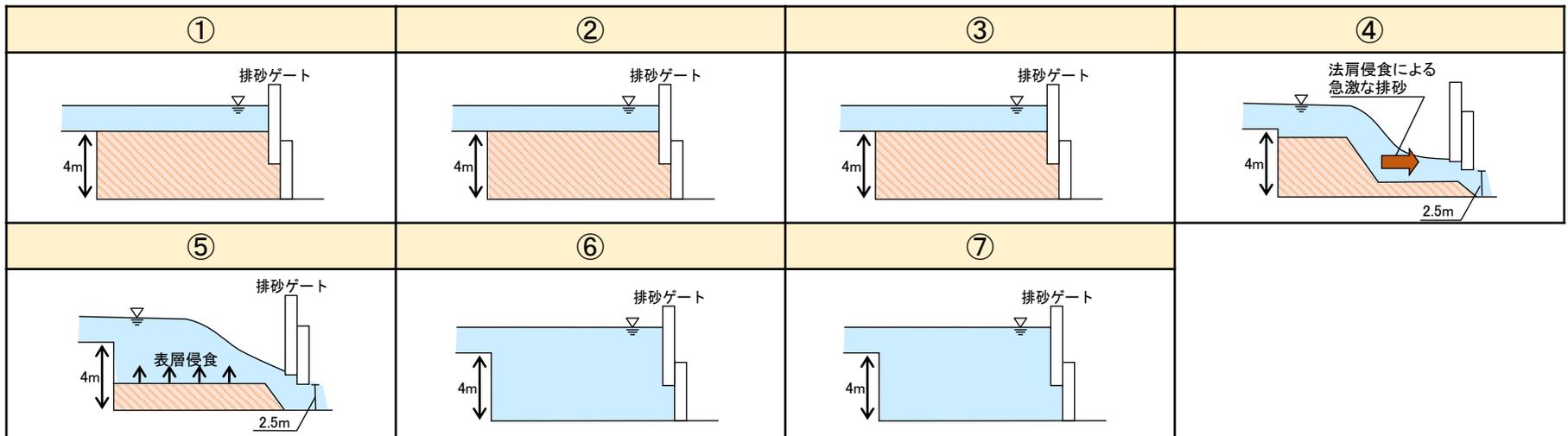
1.2 複数出水パターンをふまえた制御操作運用の確認

②：昭和56年8月の洪水を対象とした操作

Aサイド



Bサイド

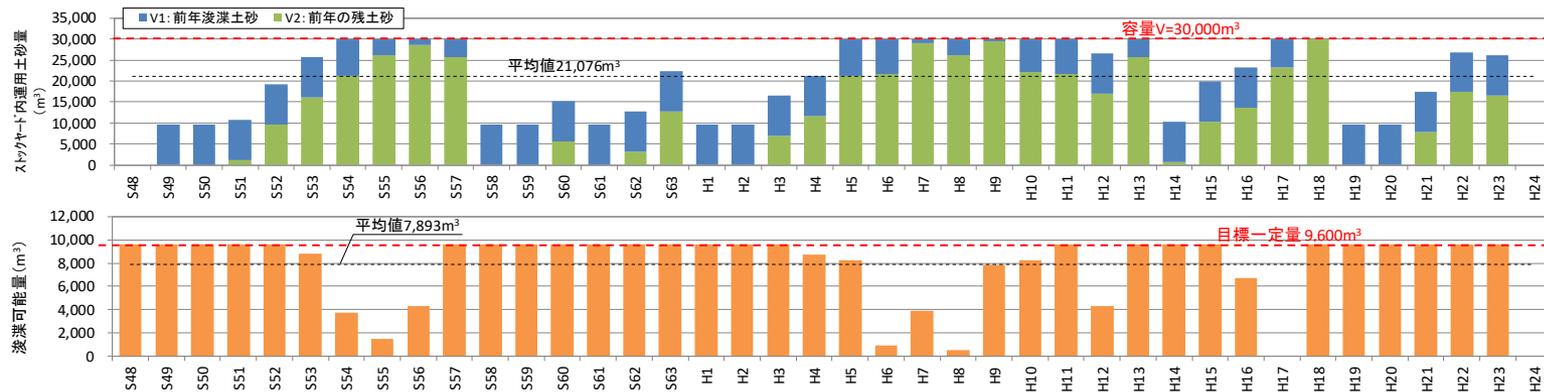


1. 運用計画・試験運用計画

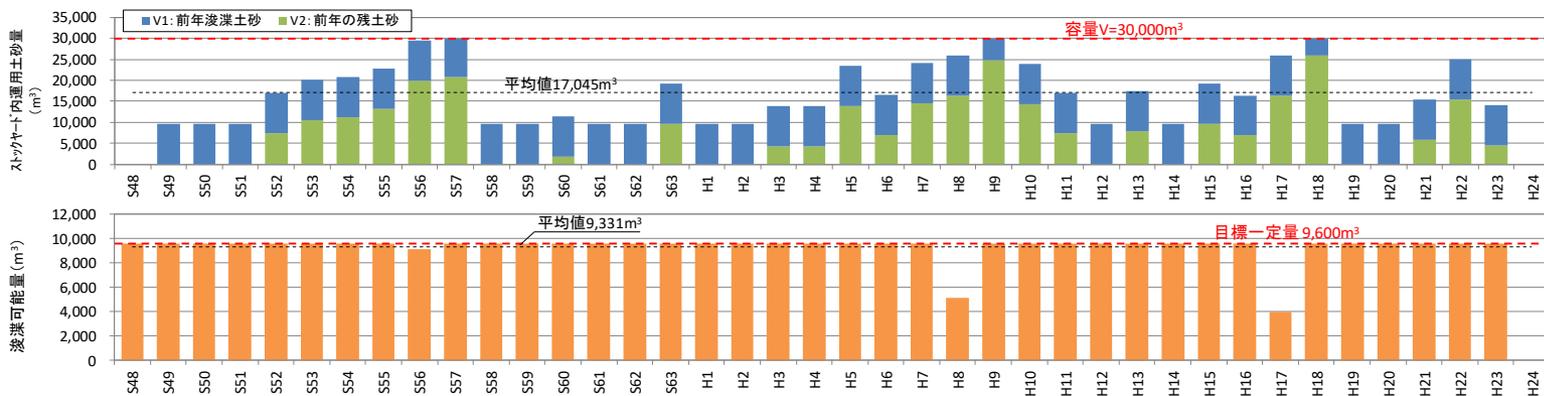
1.3 ストックヤード内土砂の一定運用による排砂量

ケース①
一定量
9.6千m³/年

侵食速度遅い
(5cm/h)



侵食速度中間
(10cm/h)



侵食速度速い
(15cm/h)

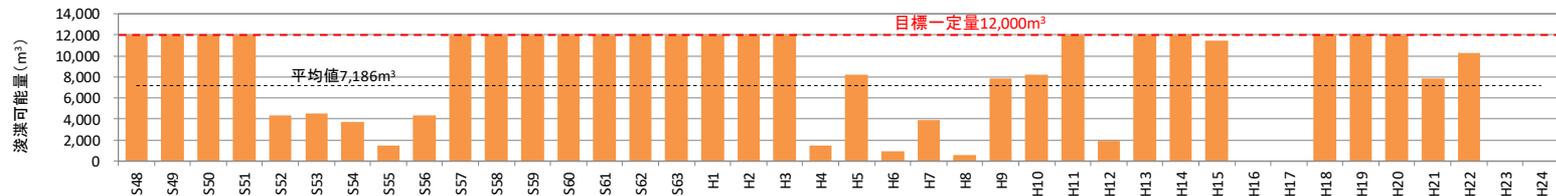
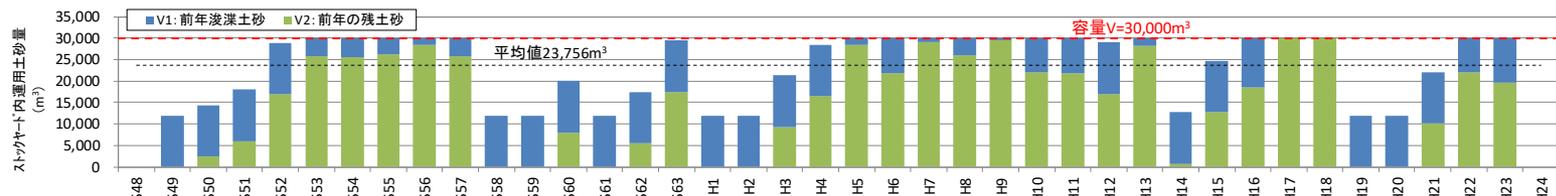


1. 運用計画・試験運用計画

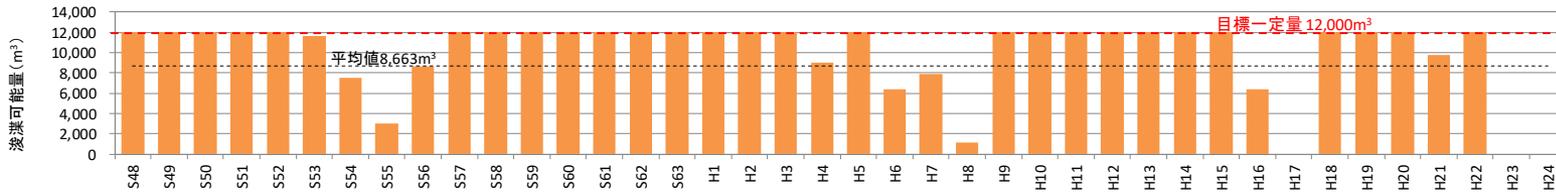
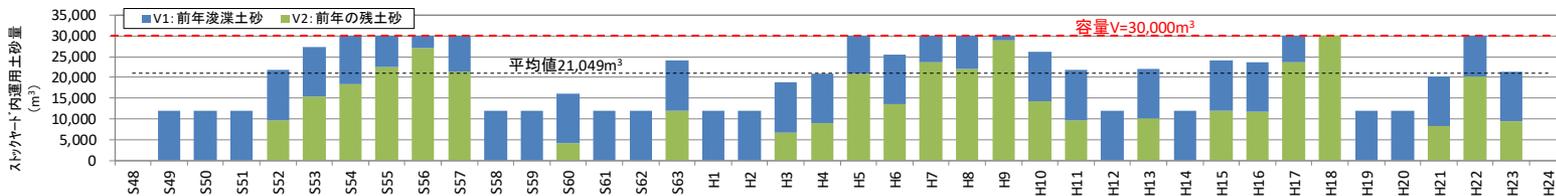
1.3 ストックヤード内土砂の一定運用による排砂量

ケース②
一定量
12千m³/年

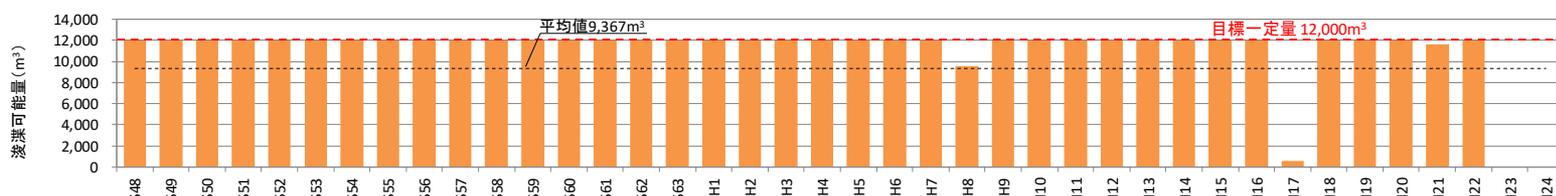
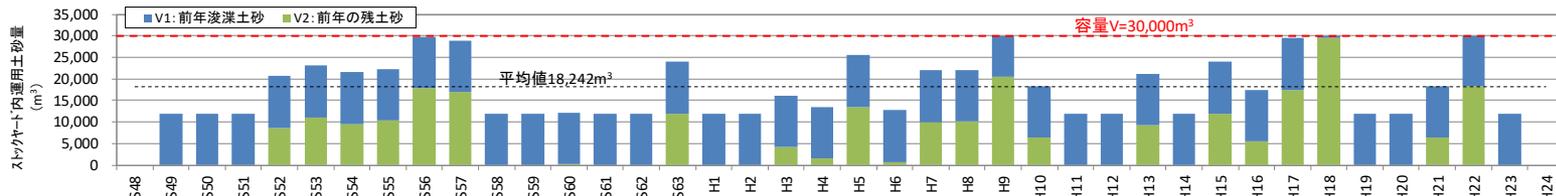
侵食速度遅い
(5cm/h)



侵食速度中間
(10cm/h)



侵食速度速い
(15cm/h)

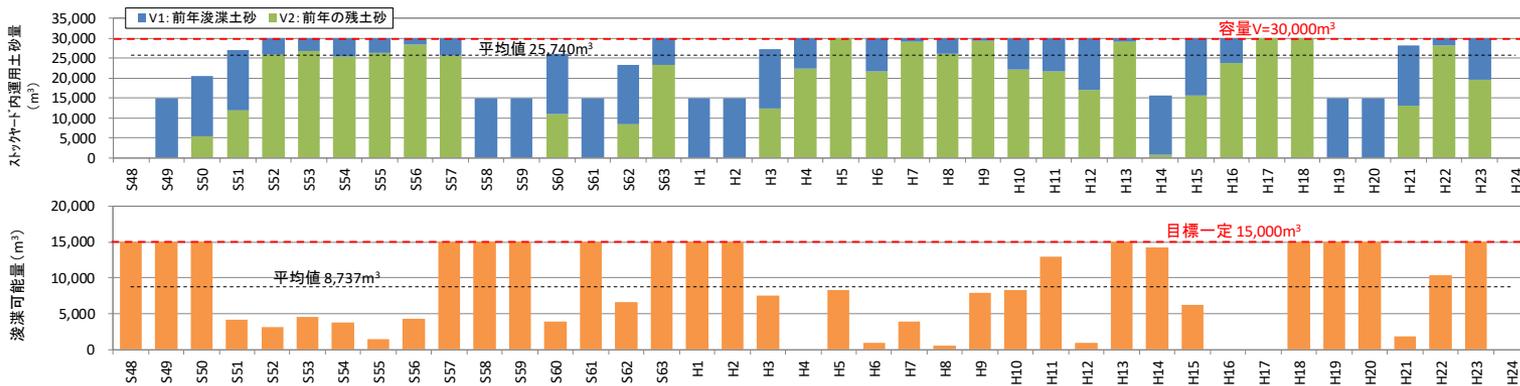


1. 運用計画・試験運用計画

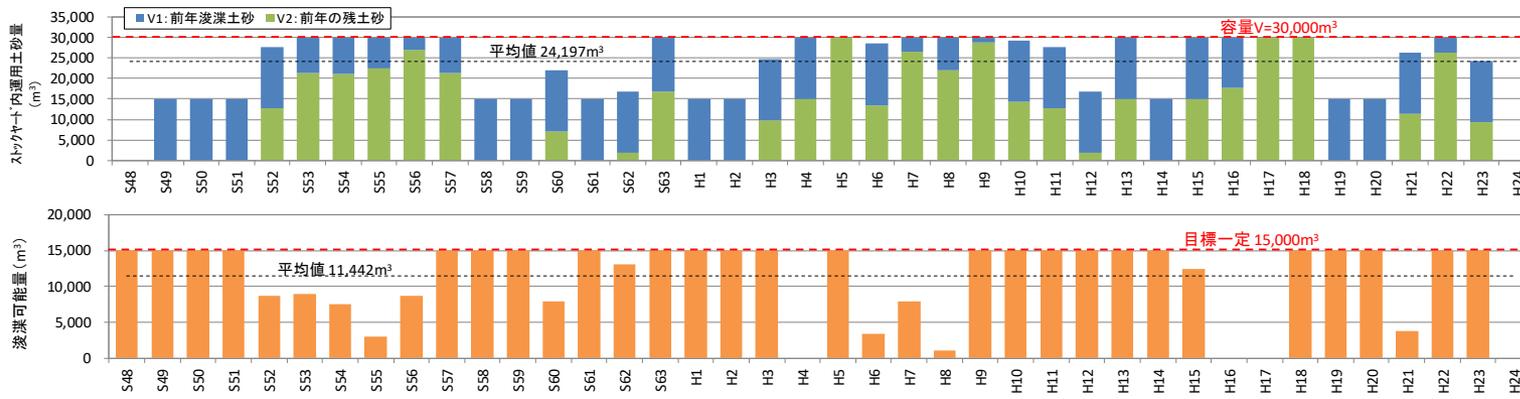
1.3 ストックヤード内土砂の一定運用による排砂量

ケース③
一定量
15千m³/年

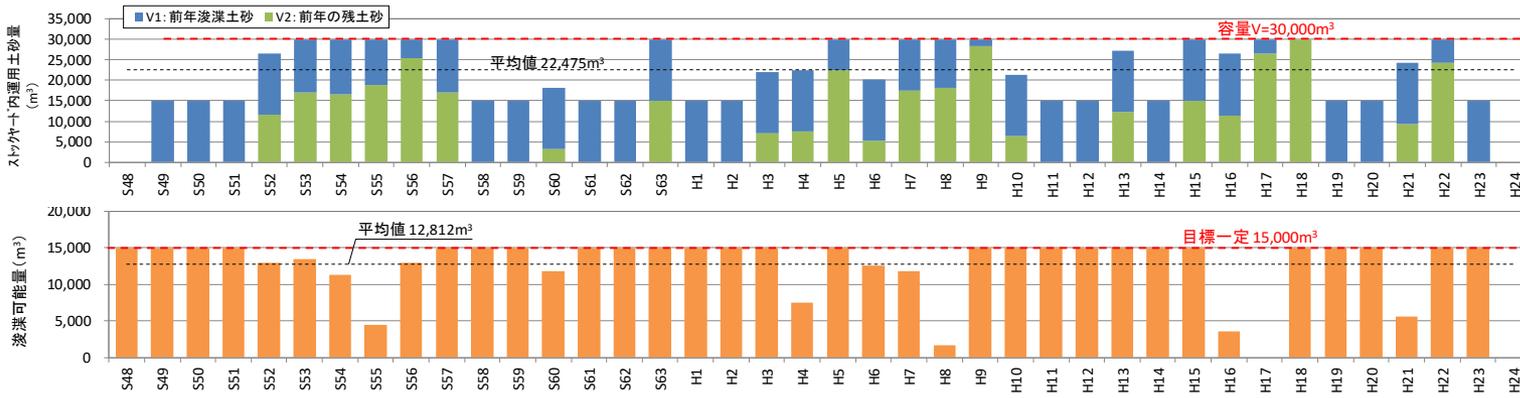
侵食速度遅い
(5cm/h)



侵食速度中間
(10cm/h)



侵食速度速い
(15cm/h)

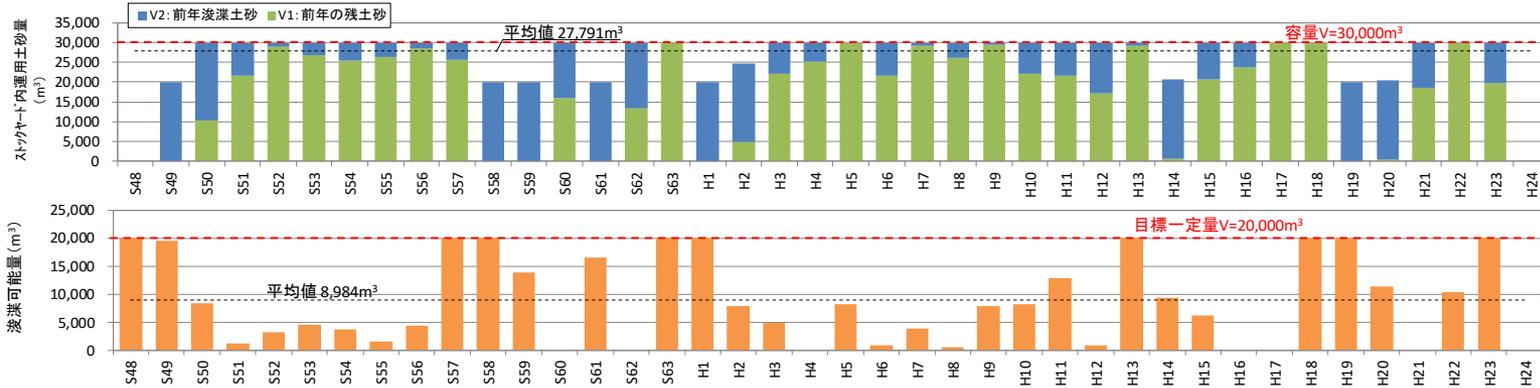


1. 運用計画・試験運用計画

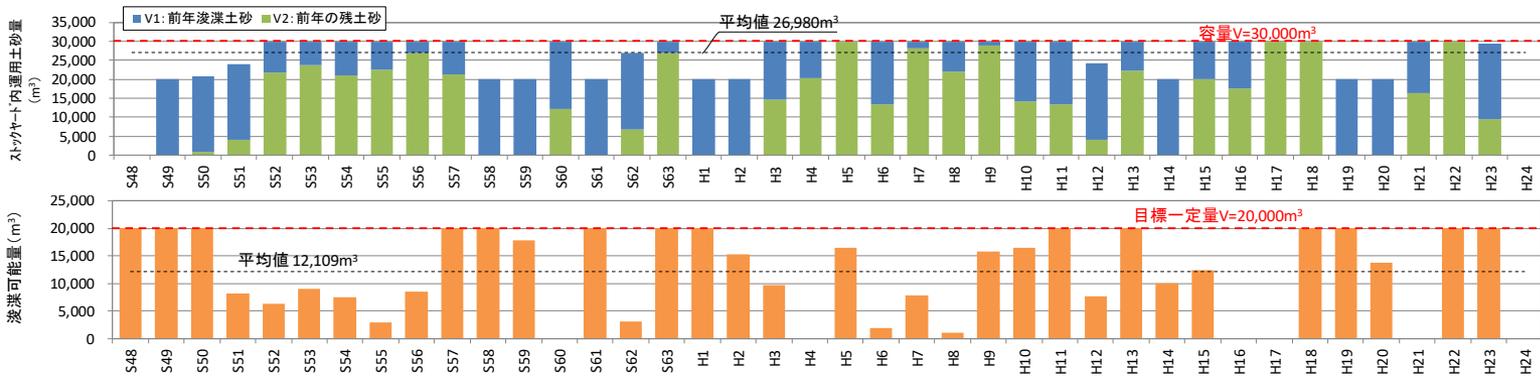
1.3 ストックヤード内土砂の一定運用による排砂量

ケース④
一定量
20千m³/年

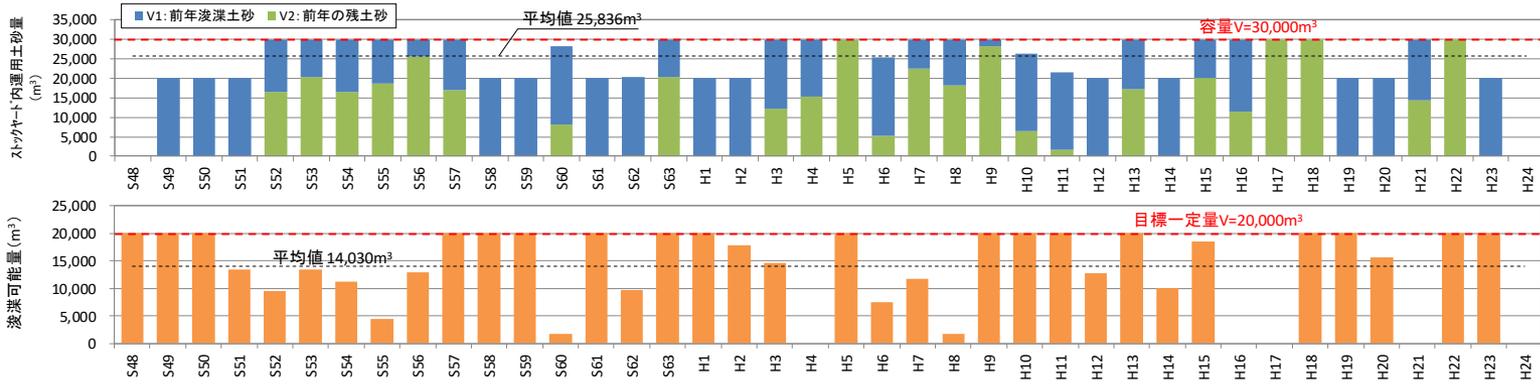
侵食速度遅い
(5cm/h)



侵食速度中間
(10cm/h)



侵食速度速い
(15cm/h)

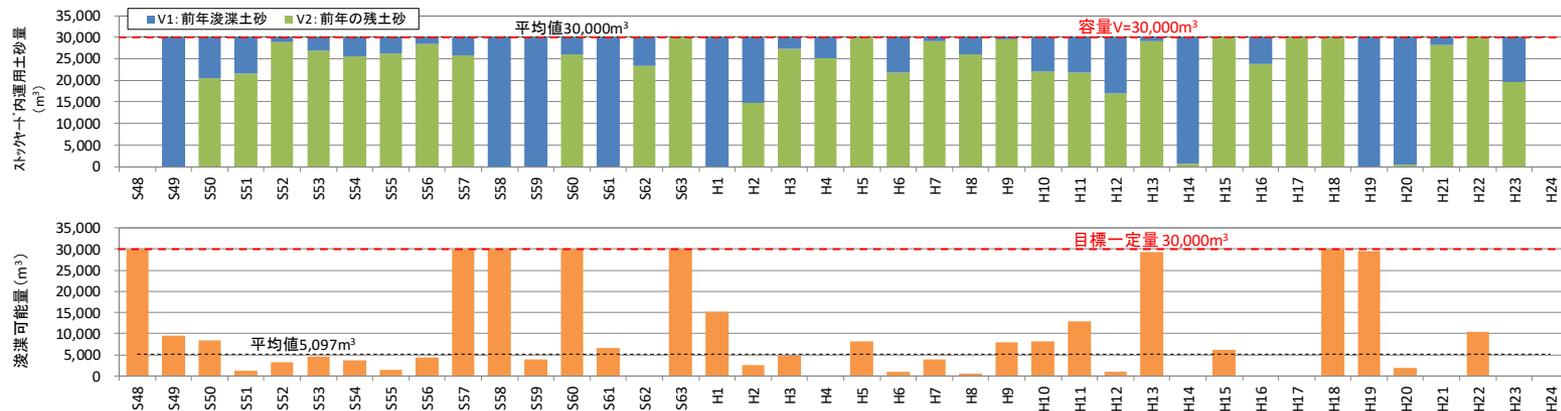


1. 運用計画・試験運用計画

1.3 ストックヤード内土砂の一定運用による排砂量

ケース⑤
一定量
30千m³/年

侵食速度遅い
(5cm/h)



侵食速度中間
(10cm/h)



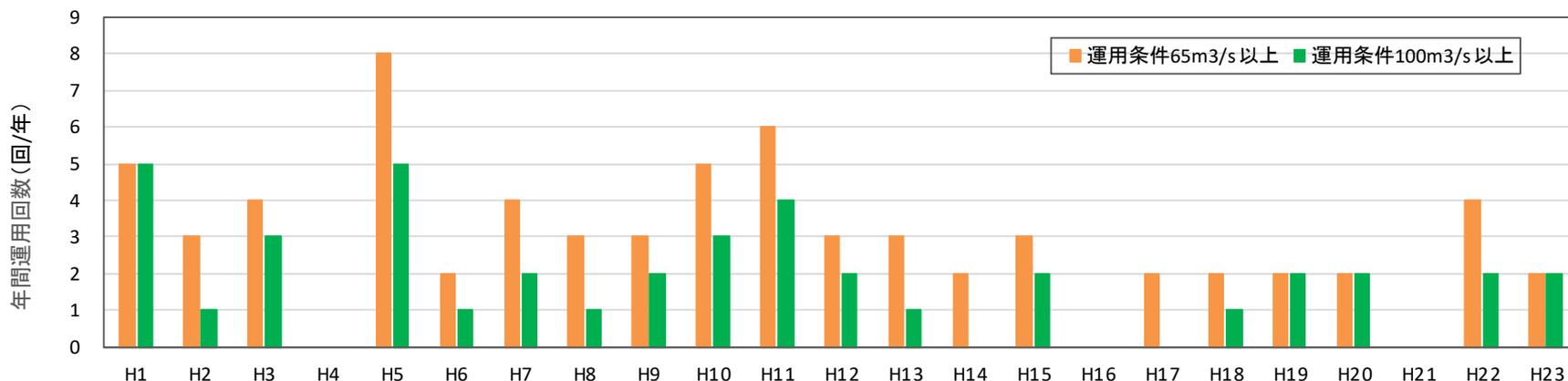
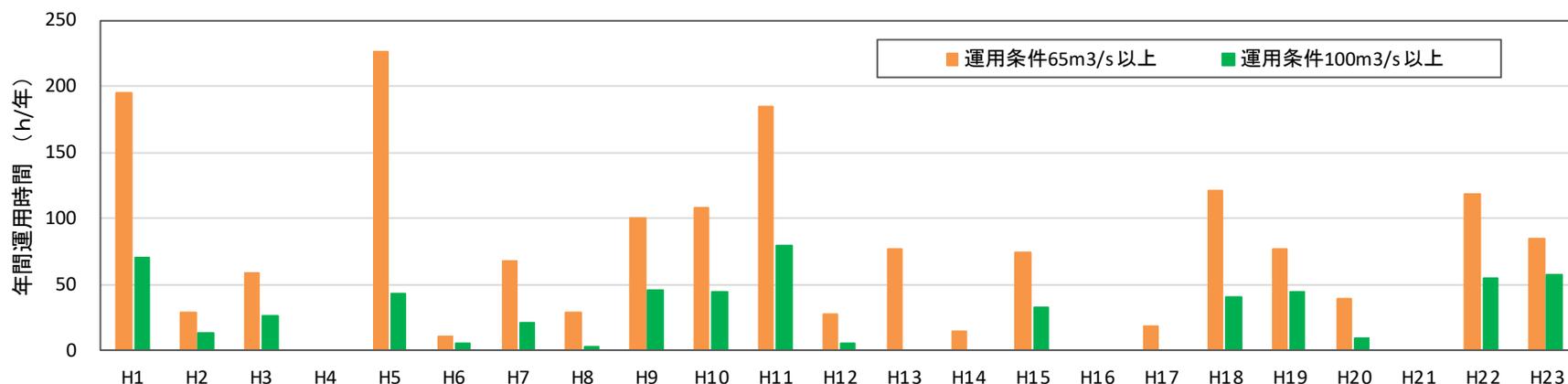
侵食速度速い
(15cm/h)



1. 運用計画・試験運用計画

1.3 スtockヤード内土砂の一定運用による排砂量

- 試験運用により所定の排砂能力が確保されない場合は、湖内堆砂対策設備の運用条件を緩和することも考慮する。
- 運用開始条件を流入量 $100\text{m}^3/\text{s}$ 以上とした場合、平成元年～23年までで平均運用回数と時間が2.2回/年、34h/年であるのに対し、 $65\text{m}^3/\text{s}$ 以上とすると、平均運用回数と時間が3.3回/年、80h/年となる。



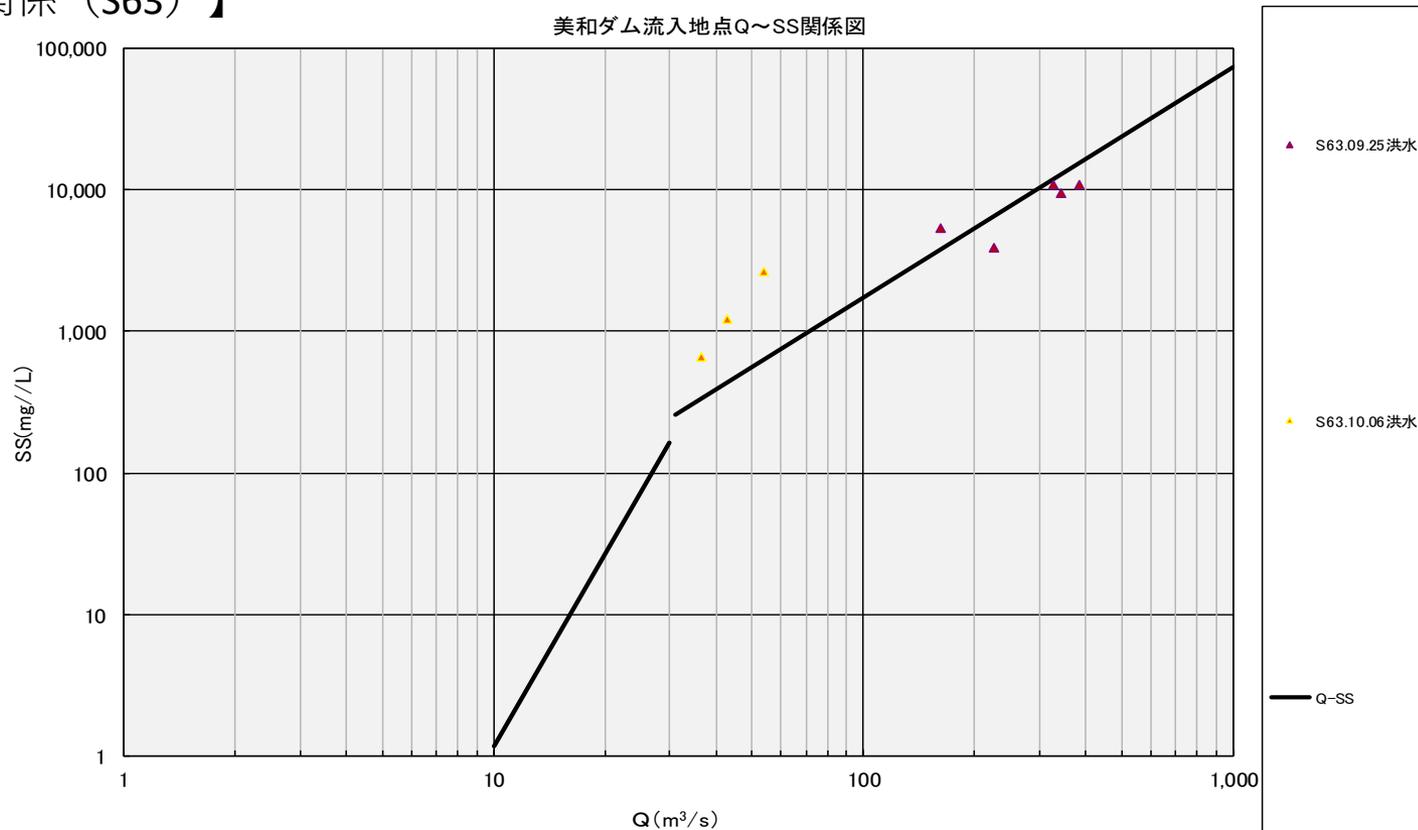
2. 環境影響予測

2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 昭和63年は概ねQ-SS線上に乗っている。

【年代別Q-SS関係（S63）】



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。

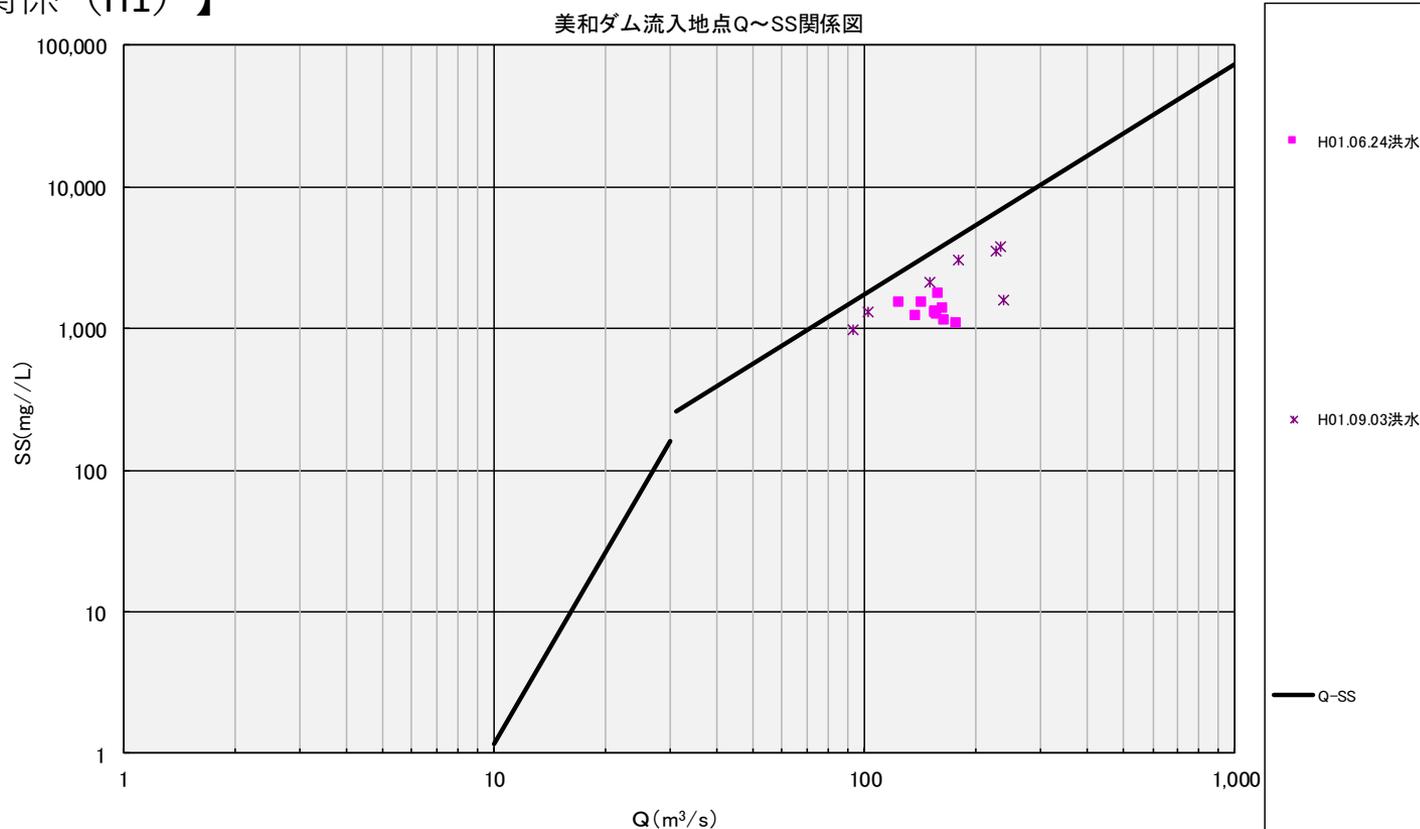
2. 環境影響予測

2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 平成元年はQ-SSより下にプロットされている。

【年代別Q-SS関係（H1）】



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。

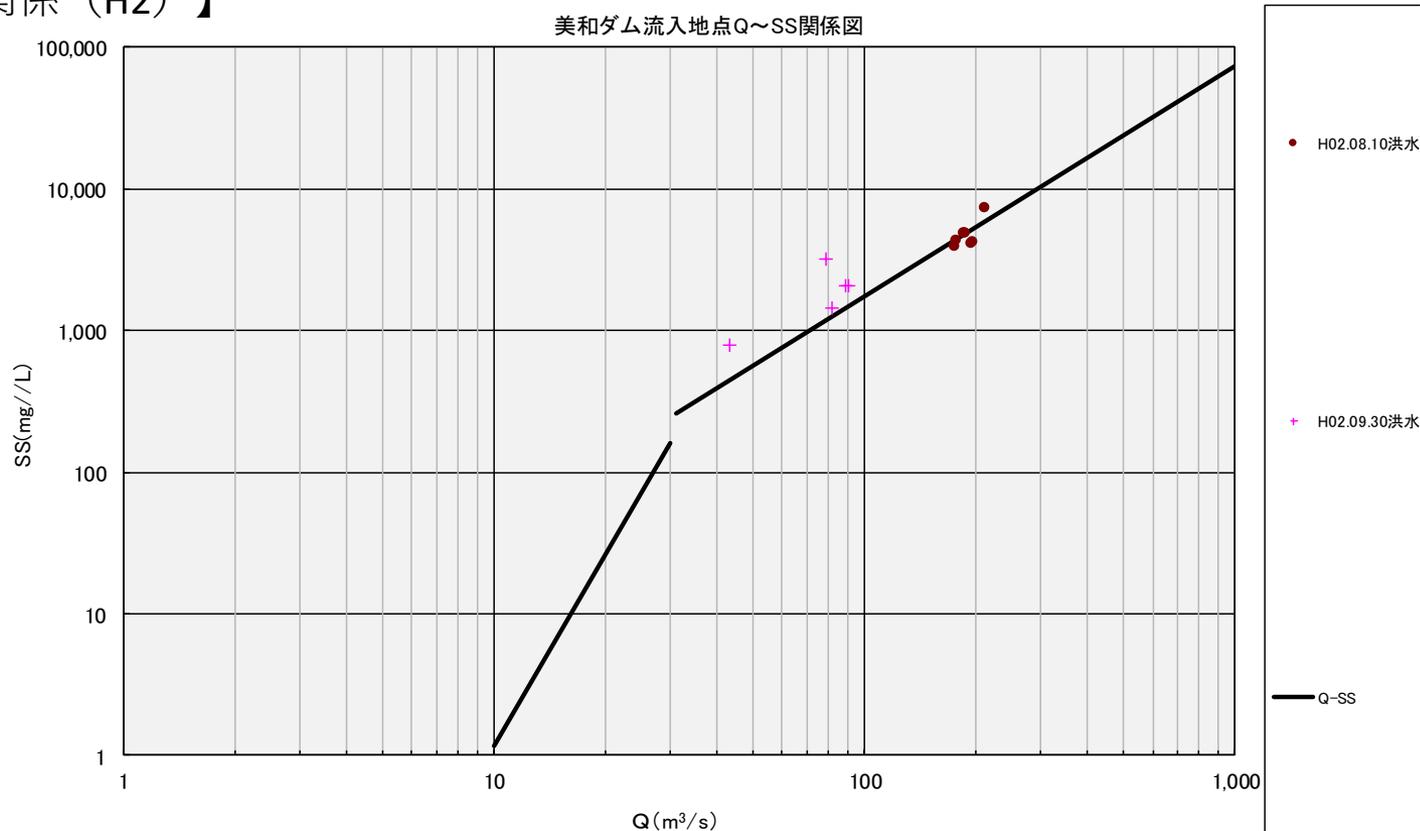
2. 環境影響予測

2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 平成2年は概ねQ-SS線上に乗っている。

【年代別Q-SS関係（H2）】



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。

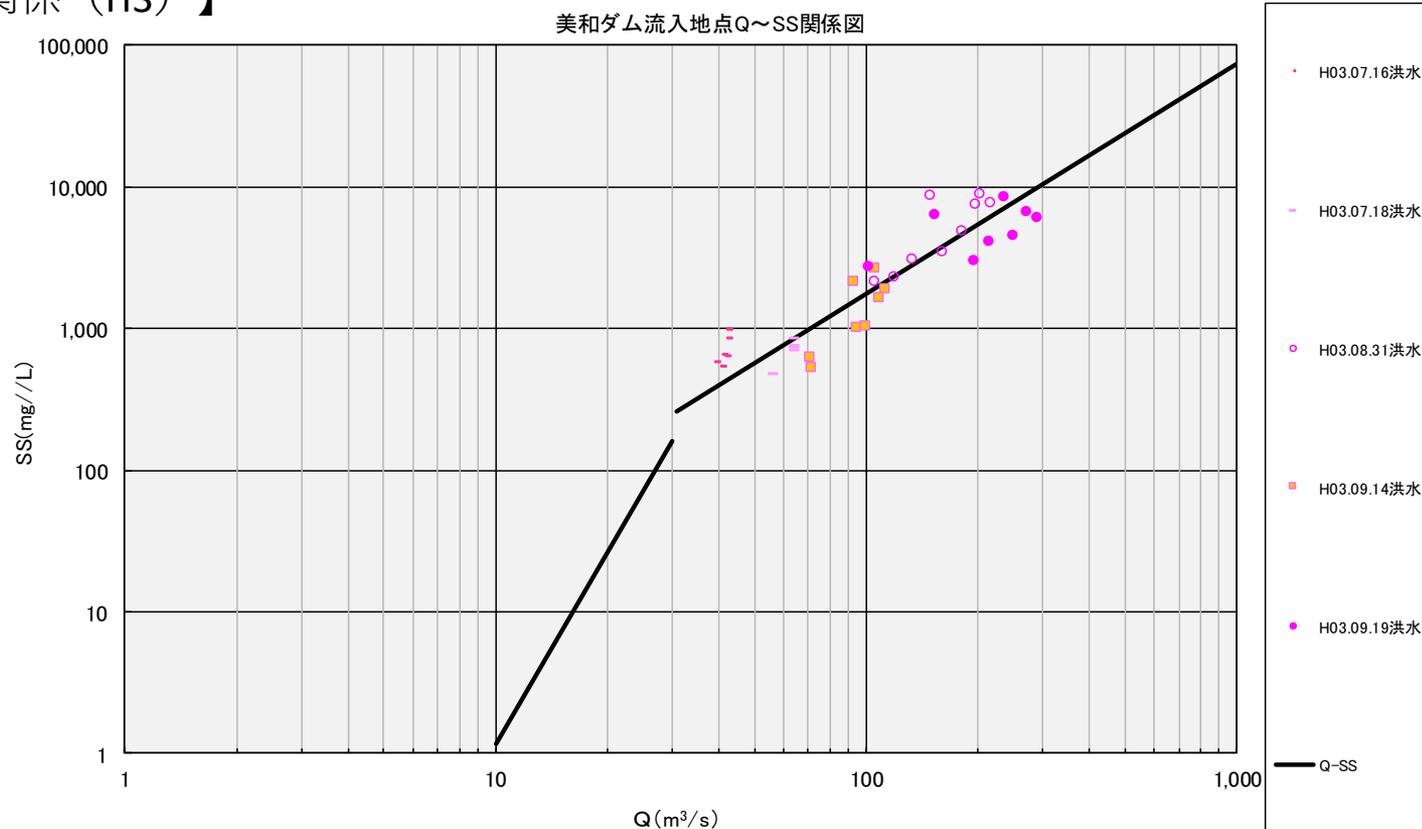
2. 環境影響予測

2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 平成3年は概ねQ-SS線上に乗っている。

【年代別Q-SS関係（H3）】



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。

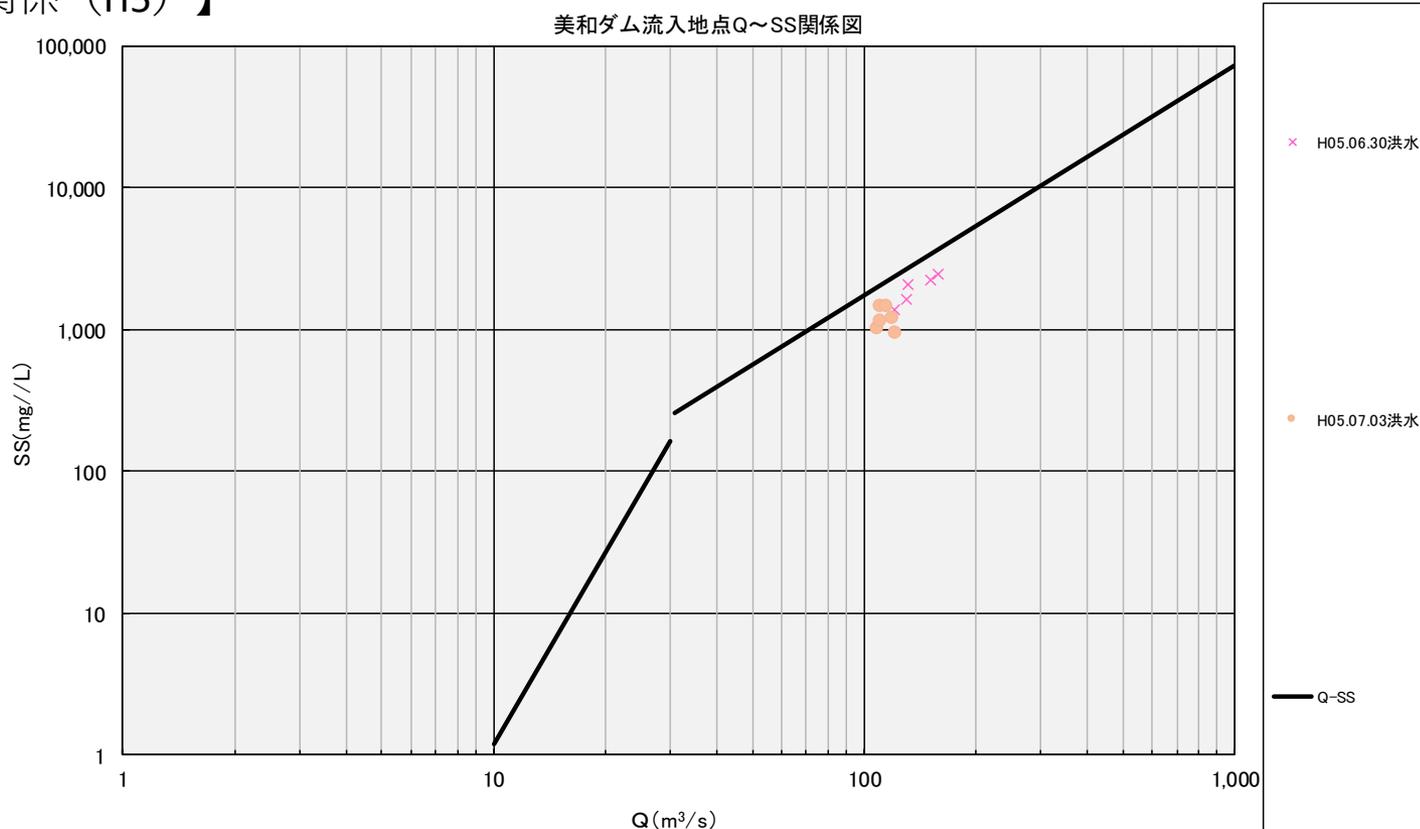
2. 環境影響予測

2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 平成5年はQ-SSより下にプロットされている。

【年代別Q-SS関係（H5）】



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。

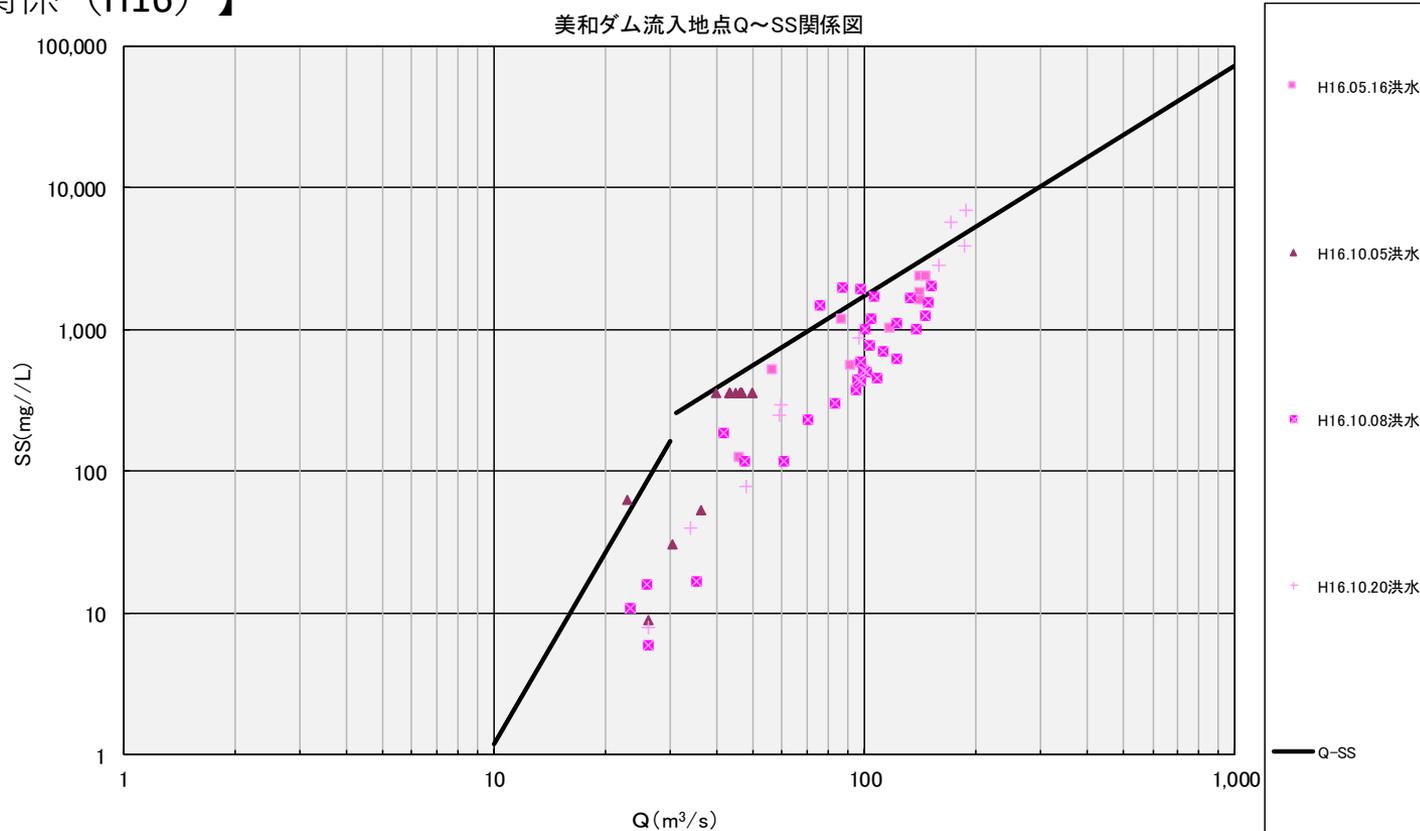
2. 環境影響予測

2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 平成16年はQ-SSより下にプロットされている。
- 平成16年10月8日出水と平成16年10月20日出水はQ-SSとの差が大きい

【年代別Q-SS関係（H16）】



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。

2. 環境影響予測

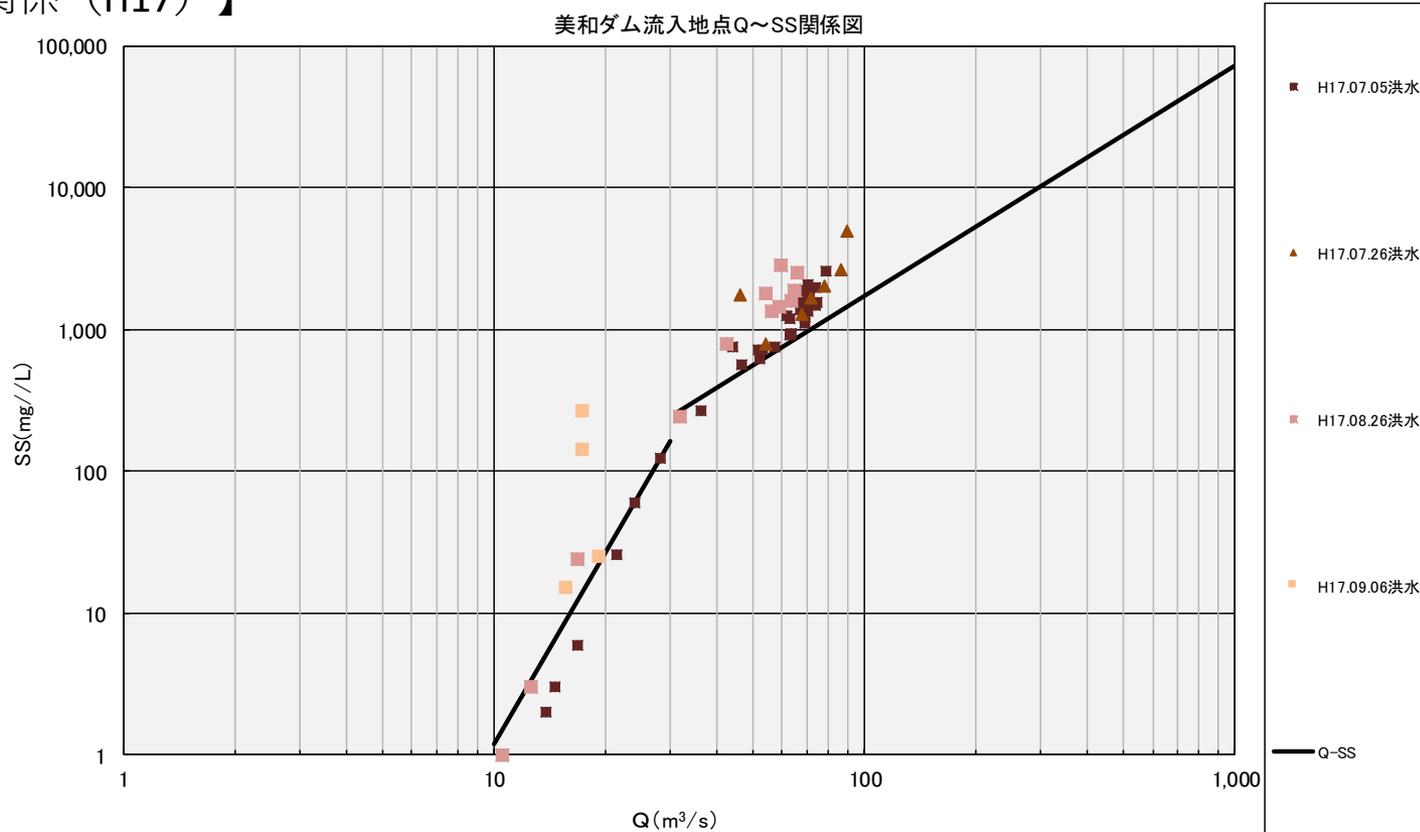
2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 平成17年はQ-SSより上にプロットされている。

【年代別Q-SS関係（H17）】

↑



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。

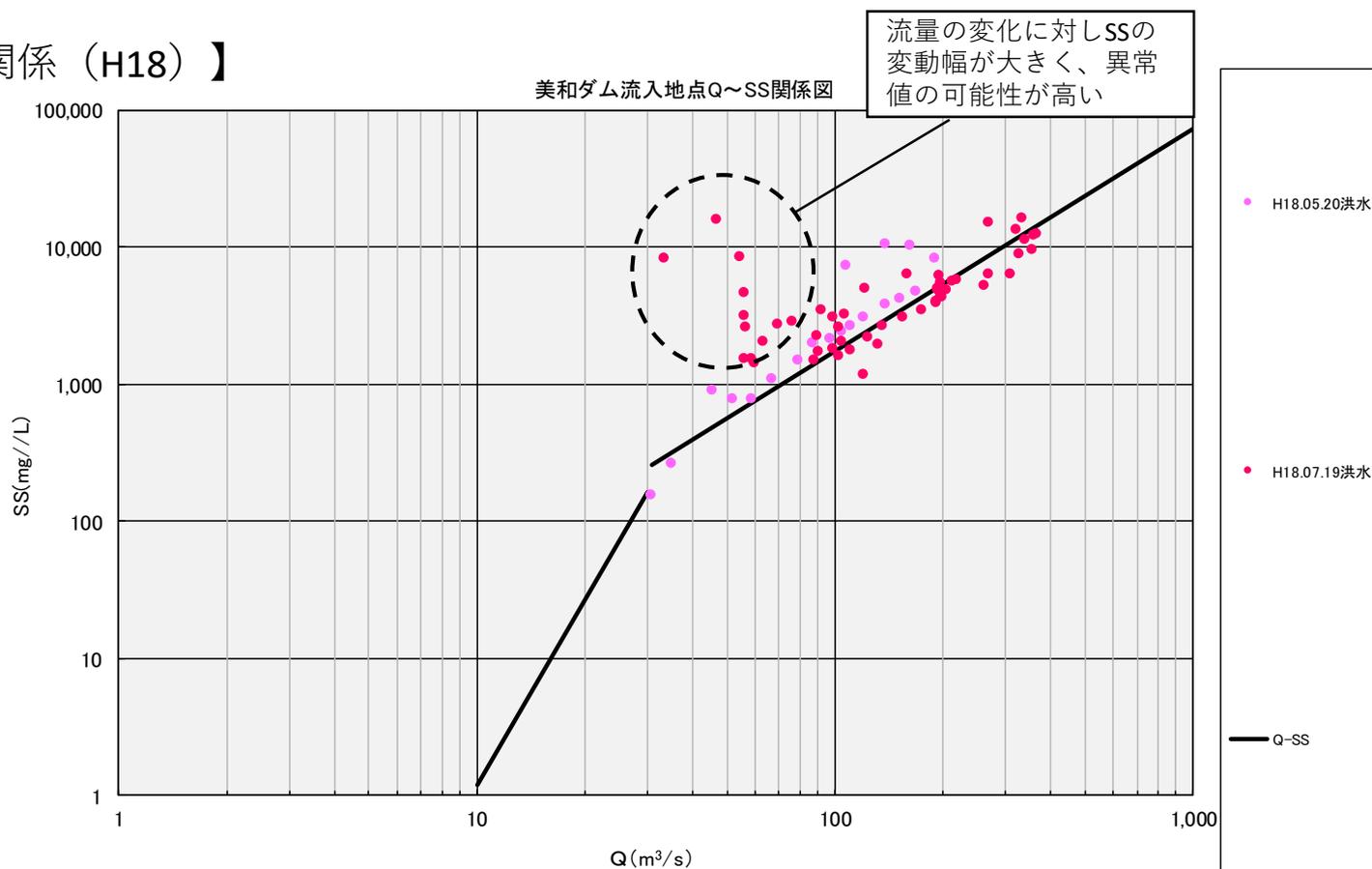
2. 環境影響予測

2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 平成18年は概ねQ-SS線上に乗っている。
- 平成18年7月19日出水は流量 $20\text{m}^3/\text{s} \sim 60\text{m}^3/\text{s}$ 付近のプロットに異常が見られる

【年代別Q-SS関係（H18）】



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。

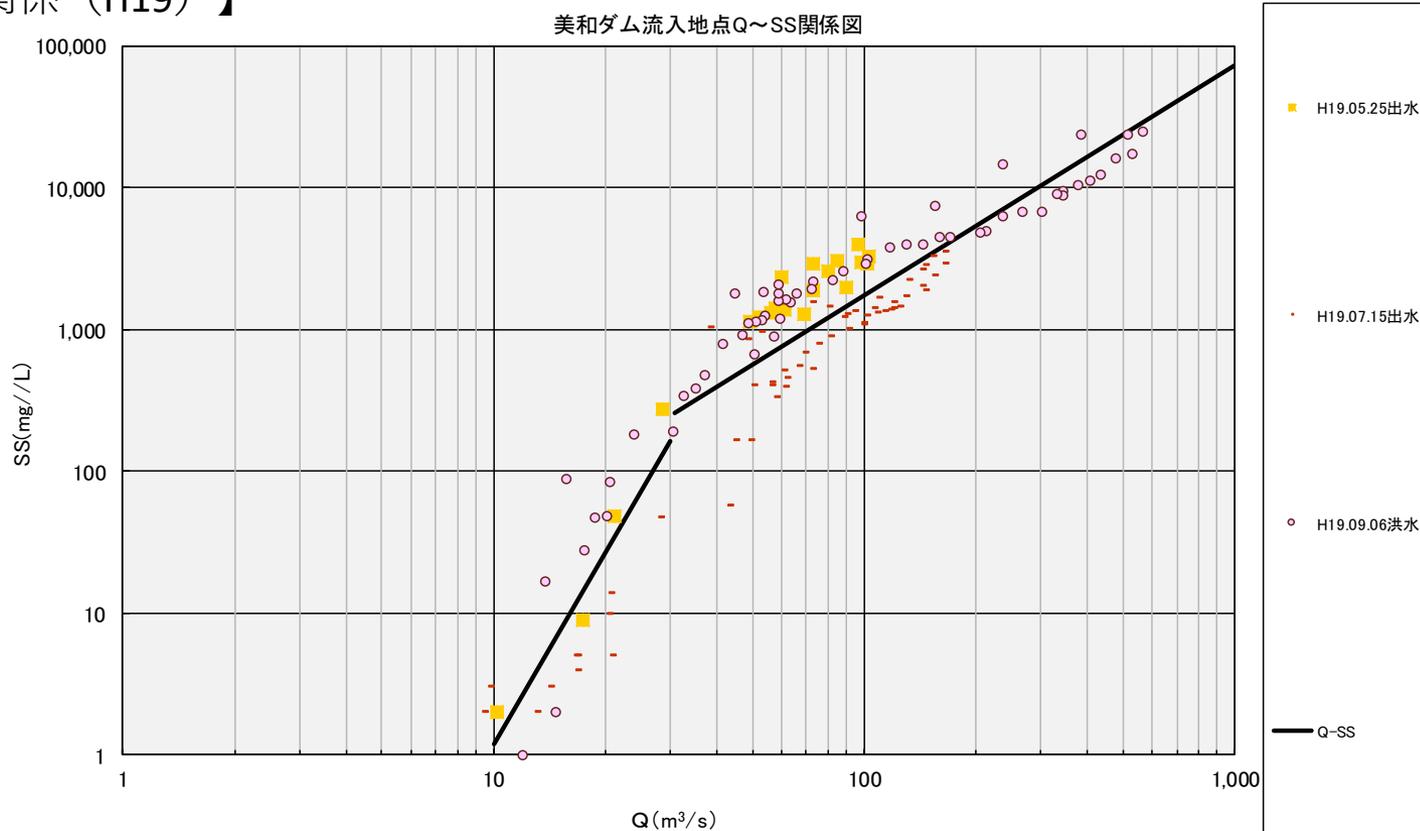
2. 環境影響予測

2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 平成19年は概ねQ-SS線上に乗っている。

【年代別Q-SS関係（H19）】



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。

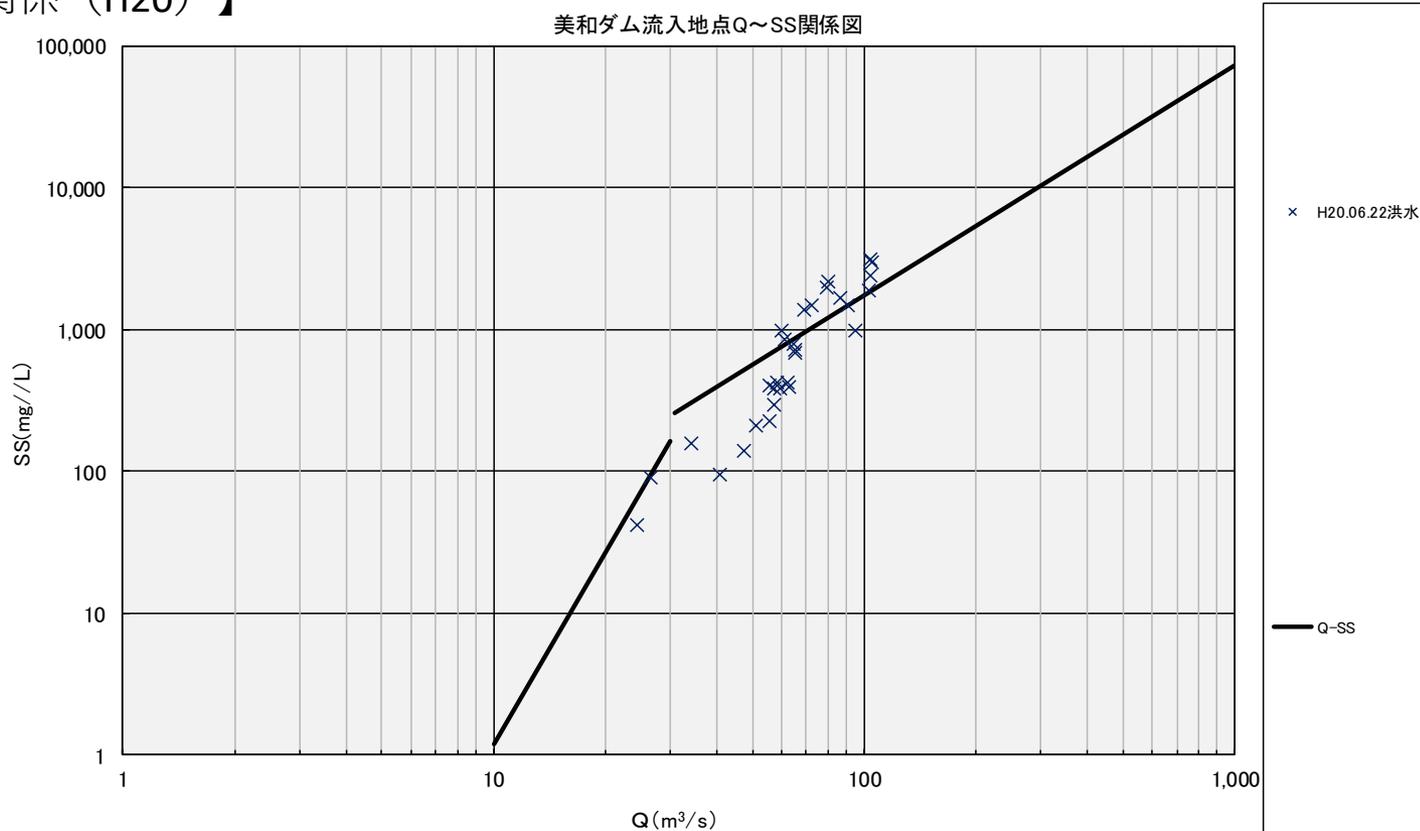
2. 環境影響予測

2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 平成20年は概ねQ-SS線上に乗っている。

【年代別Q-SS関係（H20）】



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。

2. 環境影響予測

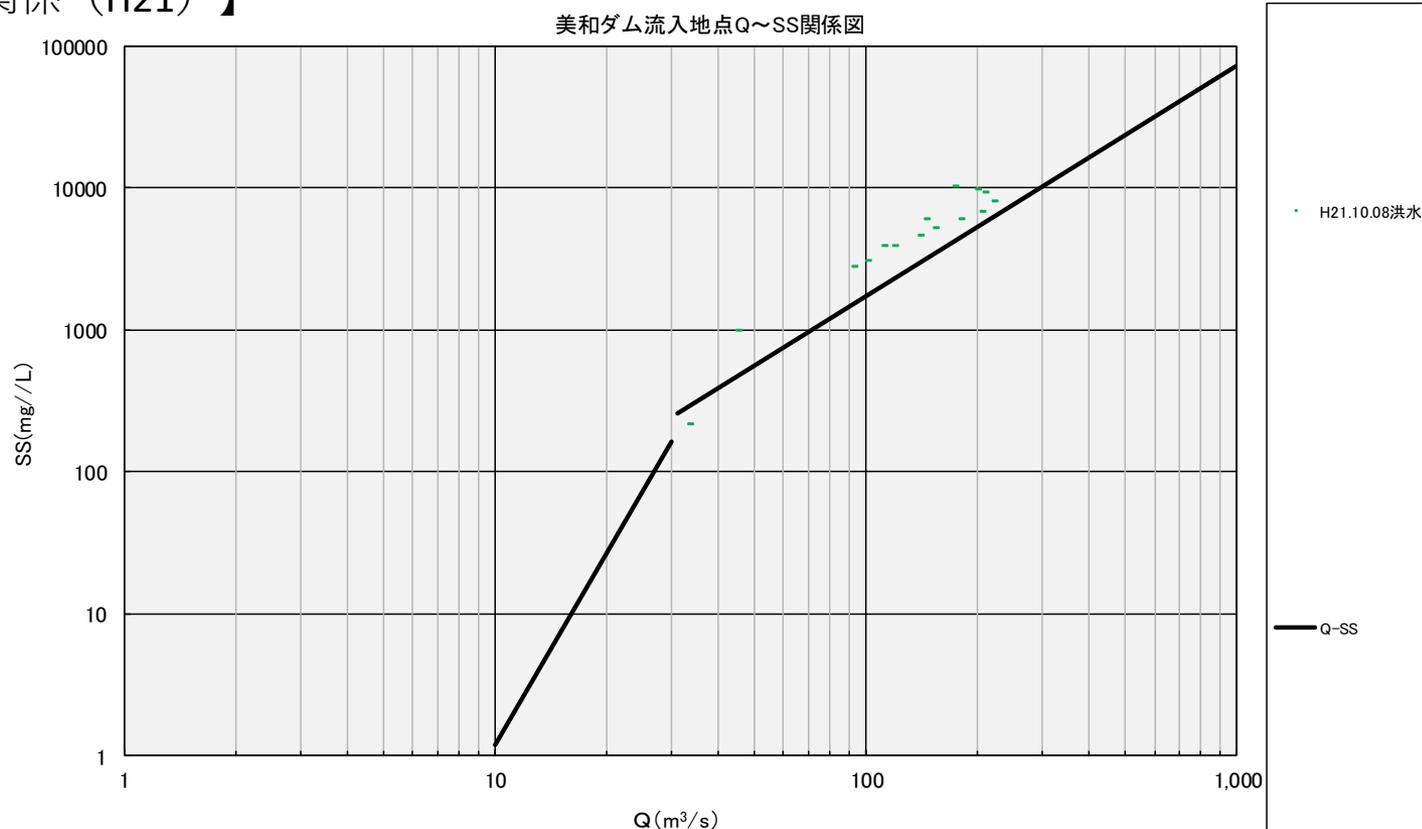
2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 平成21年はQ-SSより上にプロットされている。

【年代別Q-SS関係（H21）】

↑



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。

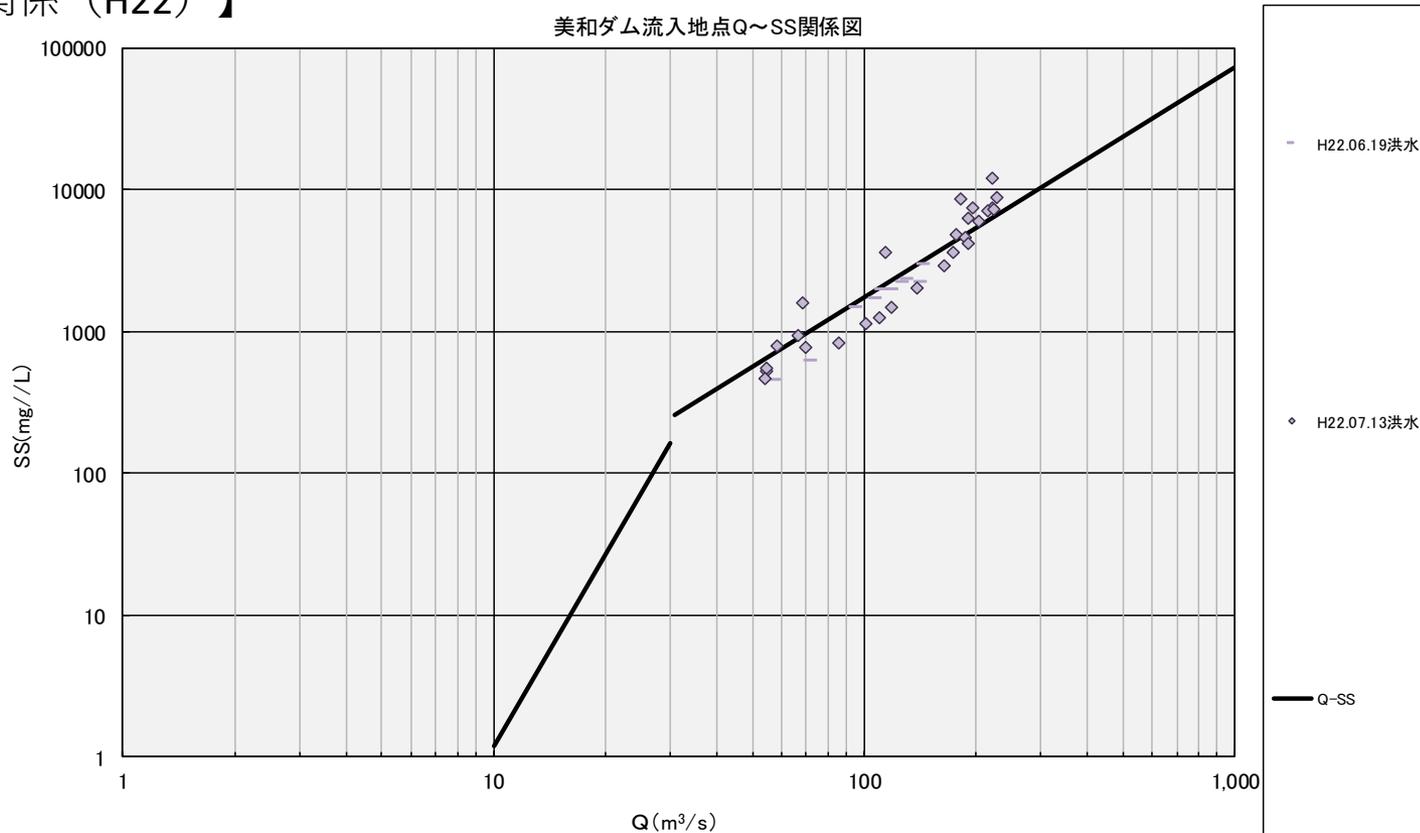
2. 環境影響予測

2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 平成20年は概ねQ-SS線上に乗っている。

【年代別Q-SS関係（H22）】



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。

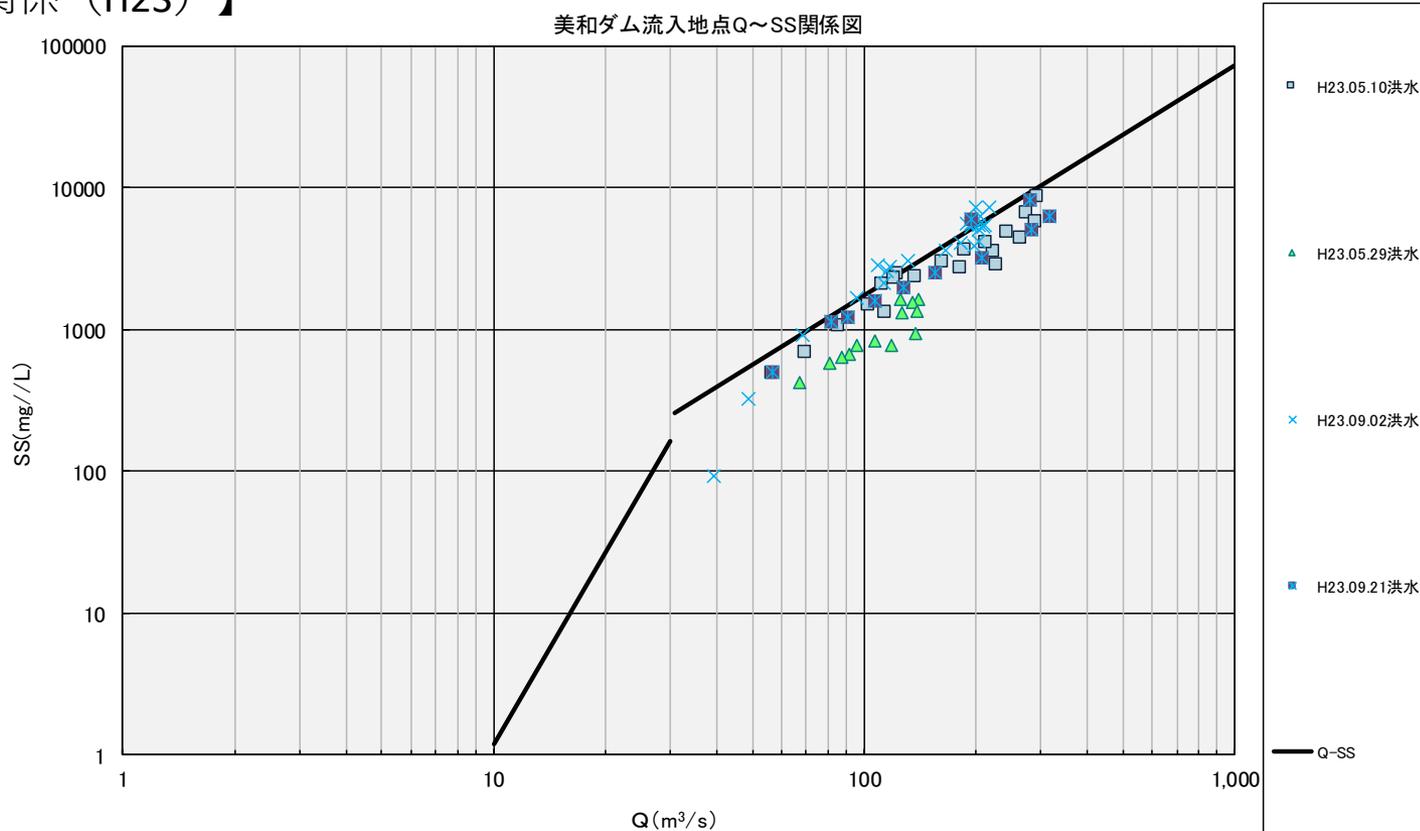
2. 環境影響予測

2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 平成23年はQ-SSより下にプロットされている。

【年代別Q-SS関係（H23）】



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。

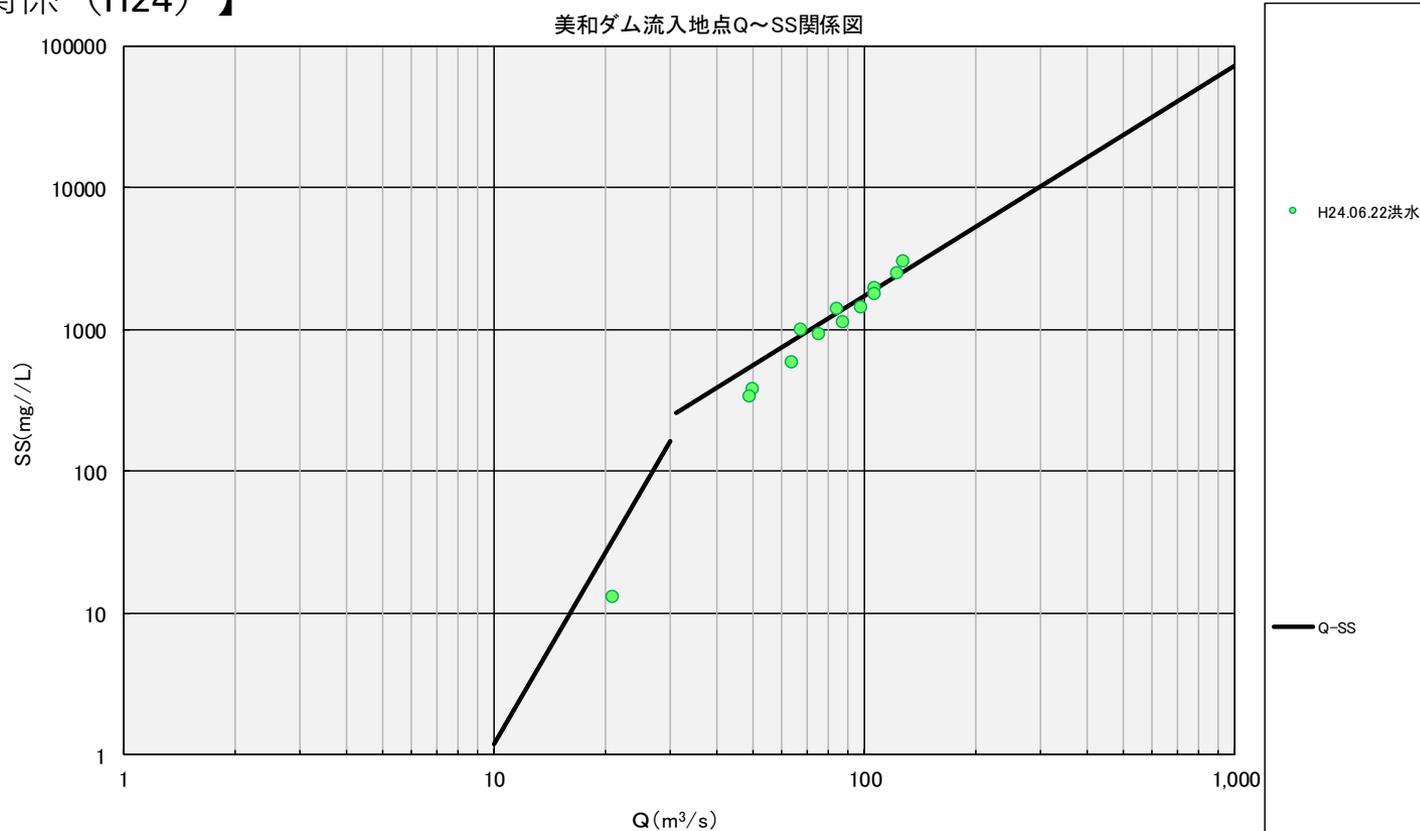
2. 環境影響予測

2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 平成24年は概ねQ-SS線上に乗っている。

【年代別Q-SS関係（H24）】



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。

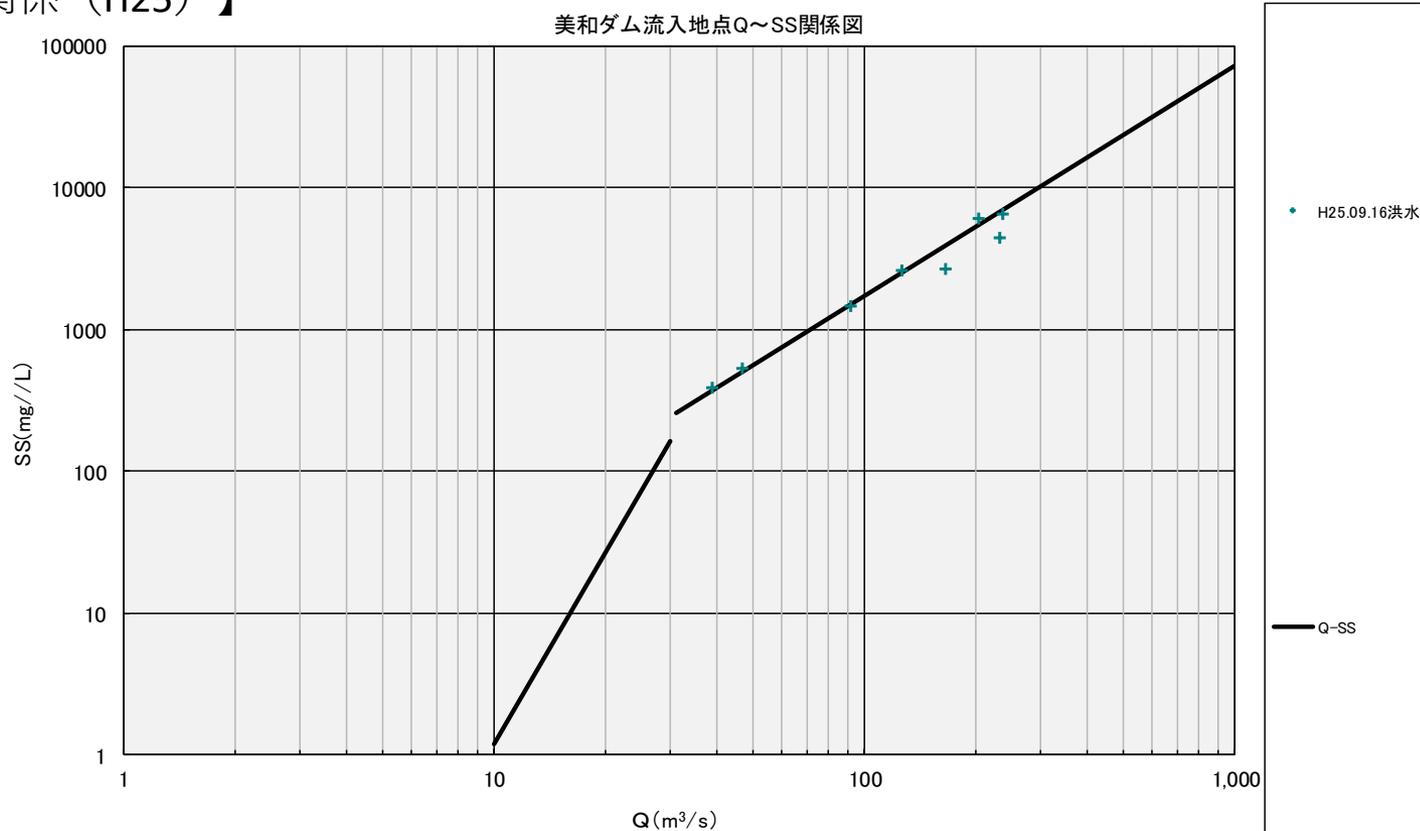
2. 環境影響予測

2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 平成25年は概ねQ-SS線上に乗っている。

【年代別Q-SS関係（H25）】



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。

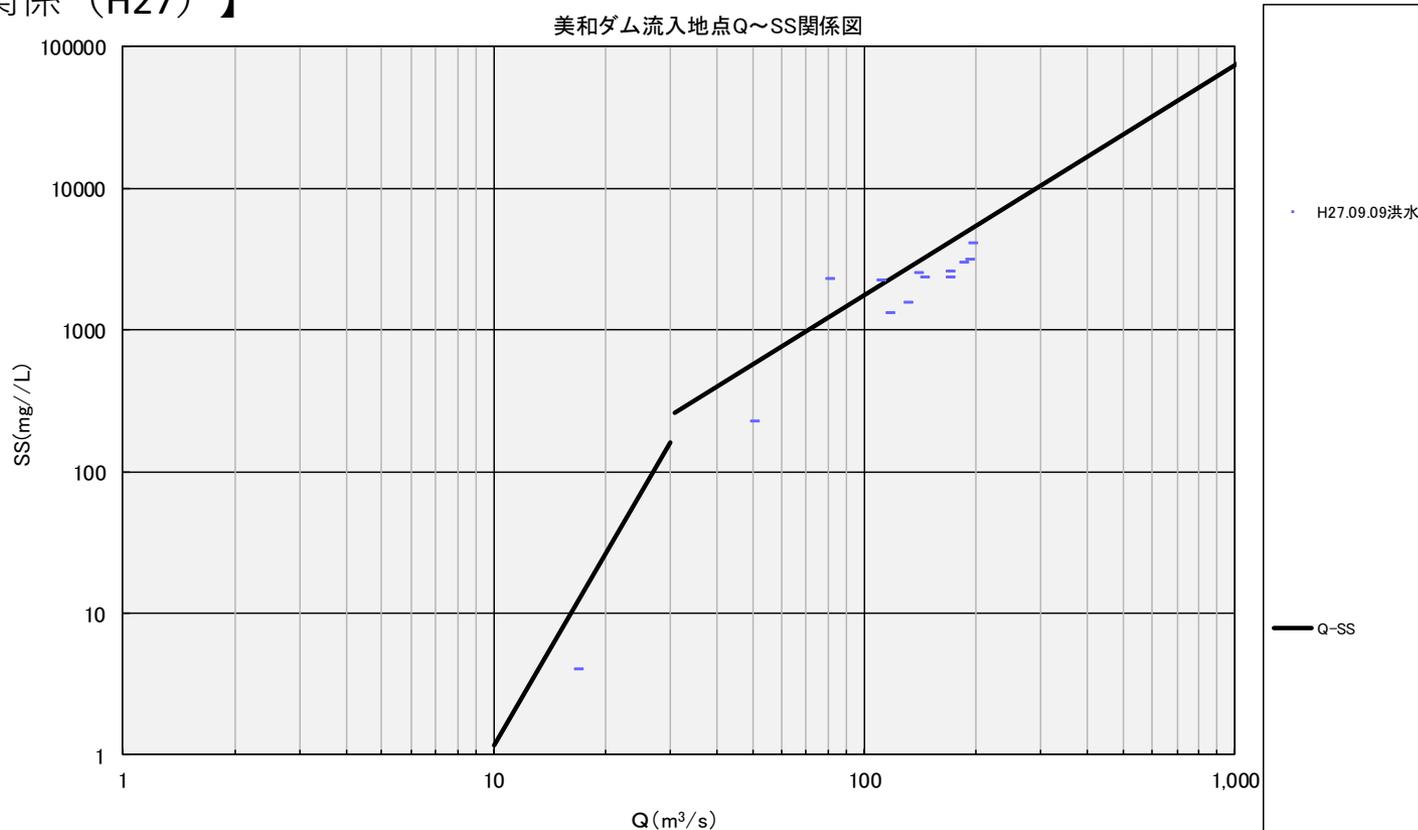
2. 環境影響予測

2.1 施設の運用前における水環境（濁水）の整理

(2) 出水時の濁度の経年変化

- Q-SS関係を毎年のデータでプロットし、設定しているQ-SSとの関係を確認した。
- 平成27年はQ-SSより下にプロットされている。

【年代別Q-SS関係（H27）】



※Q-SS曲線は、濁水モデルに使用しているもので、平成16年～平成21年の観測値を用いて作成。